



木村洋子 議員
(日本共産党)

圃場整備事業

地域の安全を確保すべき

関係機関と連携し改善に努める

問 豊間根地区は現在、圃場整備事業が大がかりに進められているが以前の圃場と比べると区画も大きくなり、それに伴い排水路や法面も大きくなっている。当地区は圃場と民家が混在している中山間地であり、大きく深くなった排水路に住みや子供が誤って落ちないような安全対策が必要なのでは。

佐藤町長 同地区の圃場整備は、農地の集約や農作業の効率化を目的とし、土地改良区が事業申請者となり、岩手県が事業主体として実施している。土地改良区では地域の農家の意向を踏まえ、計画を策定していること

町長 豊間根小学校から株式会社萬平商店までの

から、町としては安全対策においても、土地改良区や関係機関と連携しながら進めていく。

問 本事業により、圃場に隣接する道路のなだらかな法面が削られ急勾配になっていたり、道路と圃場との高低差が増大し、通行に危険を感じている。車の転落防止策として、ガードレール等の設置が必要では。

川守田建設課長 標識は高低差があることを知ら

町長 豊間根地区は、雪が多く寒さも厳しいので路面が凍結しやすい。この区間の道路は道幅が狭いため危険である。凍結時は転落する車があると何度もしり上げてきたが、視線誘導標で雪道の安全が守られるか。

区間については、車の転落を防止する目的で視線誘導標を設置する計画である。

問 注意して運転しても凍結時は滑り落ちる道路だ。

町長 運転者には注意義務があり、標識も認識できないのでは、普通免許の交付にならない。

問 待避所設置の計画はどうなったか。

建設課長 圃場整備事業により創設換地された3メートル幅の中で設置できるところを見つめる。歩道の一部に曲がった部分はあるが、歩道幅2メートルは確保される。

問 大きなプロジェクトである本事業の進行に伴い、これから危険箇所が出てくることも考えられる。町では地域住民の安全・安心を守るため、しっかりと点検し迅速に対応すべきだ。

町長 関係機関と連携し危険箇所の点検・改善に努める。



圃場整備事業が進む豊間根地区

一般質問とは、議員が町の行財政全般にわたり、事務の執行状況や将来に対する方針などについて所信を聞き、報告や説明を求め疑問点をたずねるものです。

その他の質問

- ◆被災者アンケートの結果による町の対応の変化は
- ◆持ち家再建が困難な被災者に寄り添った対応をしているか
- ◆ペット飼育可能な災害公営住宅の戸数確保は十分か
- ◆国保税の引き上げで町民に負担増を押しつけるべきではないのでは